

## 第 103 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

## 1 日目②【一般問題（薬学理論問題）】 問 127

問 127 表は、福岡県の久山町研究において 65 歳以上の住民 826 名を 15 年間追跡し、65 歳の時点での高血圧と耐糖能異常が、その後の脳血管性認知症とアルツハイマー病の発症に及ぼす影響について調べたものである。この結果から導き出される結論として誤っているのはどれか。2 つ選べ。

高血圧 <sup>a</sup>	耐糖能異常 <sup>b</sup>	相対危険度 <sup>c</sup>	
		脳血管性認知症	アルツハイマー病
—	—	1.0	1.0
—	+	4.2*	4.6*
+	—	4.1*	0.9
+	+	5.6*	2.3*

<sup>a</sup> 収縮期血圧 140 mmHg 以上、又は拡張期血圧 90 mmHg 以上、又は降圧薬内服者を (+) とした。

<sup>b</sup> 空腹時血糖値 115 mg/dL 以上、又は食後 2 時間以後の血糖値 140 mg/dL 以上、又は随時血糖値 200 mg/dL 以上、又は糖尿病の病歴ありの者を (+) とした。

<sup>c</sup> 高血圧及び耐糖能異常がいずれも (—) の群を基準群 (1.0) として表示した。

\* 基準群と比較して有意差あり。相対危険度の 95% 信頼区間が 1.0 を含まない場合に有意とした。

- 耐糖能異常は、単独でアルツハイマー病の危険因子となる。
- 耐糖能異常がない場合、高血圧はアルツハイマー病を抑制する因子となる。
- 高血圧及び耐糖能異常は、いずれも単独で脳血管性認知症の危険因子となる。
- 脳血管性認知症は高血圧の危険因子となる。
- 高血圧はアルツハイマー病に対する耐糖能異常の影響を解析する上で、交絡因子となる。

## 採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

## 理由

複数の正解があるため。

2日目①【一般問題（薬学実践問題）】 問 217

問 217（実務）

SGLT2 選択的阻害薬の副作用として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- 1 低血糖
- 2 尿路感染症
- 3 脱水
- 4 血圧上昇
- 5 体重減少

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理 由

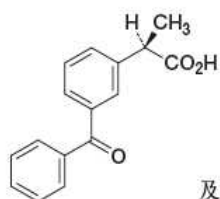
設問が不明瞭で正解が得られないため。

## 2日目①【一般問題（薬学実践問題）】 問 224

### 問 224（実務）

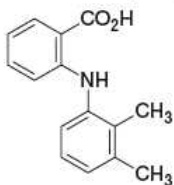
この男性が持参したお薬手帳には、ケトプロフェンにて光線過敏症を起こしたことがあるとの記載があった。この男性が持参した処方箋に1～5のいずれかの薬剤が記載されていた場合に、ケトプロフェンと同様に光線過敏症を引き起こす可能性があり、注意を要する医薬品はどれか。1つ選べ。

<ケトプロフェン>

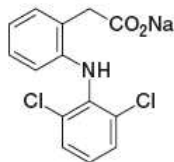


及び鏡像異性体

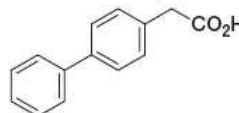
#### 1 メフェナム酸



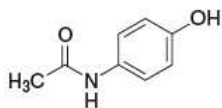
#### 2 ジクロフェナクナトリウム



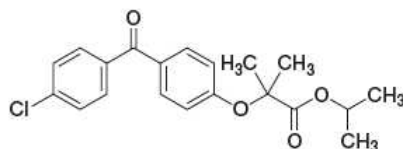
#### 3 フェルビナク



#### 4 アセトアミノフェン



#### 5 フェノフィブラート



採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理由

複数の正解があるため。

2日目②【一般問題（薬学実践問題）】 問 260

問 260-261 35歳女性。体重 55 kg。C型慢性肝炎と診断され、治療開始となった。ペグインターフェロンアルファ-2a（週1回皮下注射）での治療が開始され、以下の処方が出された。

（処方1）

シメプレビルナトリウムカプセル 100 mg 1回1カプセル（1日1カプセル）  
1日1回 朝食後 14日分

（処方2）

リバビリン錠 200 mg 朝1錠、夕2錠（1日3錠）  
1日2回 朝夕食後 14日分

問 260（薬理）

この患者に使用する治療薬のC型肝炎ウイルスに対する作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 NS5B ポリメラーゼを阻害する。
- 2 NS3/4A プロテアーゼを阻害する。
- 3 RNA 依存性 RNA ポリメラーゼを阻害する。
- 4 DNA ポリメラーゼを阻害する。
- 5 逆転写酵素を阻害する。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理由

複数の正解があるため。

2日目③【一般問題（薬学実践問題）】 問 292

問 292-293 28歳女性。1ヶ月ぐらい前から動悸、手指の震えがあり、発汗が多くなったため近医を受診したところ、バセドウ病と診断され下記の薬剤が処方された。

(処方)

プロピルチオウラシル錠 50 mg 1回2錠 (1日6錠)  
1日3回 朝昼夕食後 28日分

問 292 (実務)

患者への説明として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 催奇形性の報告があるので、薬剤服用中は妊娠を避けるよう説明する。
- 2 甲状腺ホルモンの分泌を抑える薬であると説明する。
- 3 定期的に数ヶ月間服用し、症状が改善したら減薬できると説明する。
- 4 海藻類を積極的に摂取するよう説明する。
- 5 定期的な血液検査の必要性を説明する。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理 由

複数の正解があるため。